

計画事業番号	00259	事務事業名	元気フェスティバル連携事業	担当部署	教育部社会教育課	電話	4846
--------	-------	-------	---------------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	生涯学習の振興のため施策の推進体制等の整備に関する法律				
事務事業開始年度	平成4年度	個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 4 節) 社会教育の充実	
	(施策 1 ) 学習活動への支援の充実	
2 対象	市民	
3 目的と内容	<p>&lt;目的&gt; 市民の生涯学習に対する理解や関心を深めるとともに、市民及び団体の交流を促進する。</p> <p>&lt;概要&gt; 平成16年度から名称を「元気フェスティバルinきたひろしま」に改め、内容を拡充し、市民と行政の協働で事業を企画し、実施する。</p>	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	市民団体に構成する実行委員会に対し、交付金を交付し、元気フェスティバルを開催する。
	29年度	昨年と同様であるが、市民団体に構成する実行委員会に対し、交付金を交付し、元気フェスティバルを開催する。

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
「元気フェスティバルinきたひろしま」の開催への連携・支援	47団体参加 3,000人来場	「元気フェスティバルinきたひろしま」の開催への連携・支援	「元気フェスティバルinきたひろしま」の開催への連携・支援	「元気フェスティバルinきたひろしま」の開催への連携・支援

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	参加団体数は減少しているが、減少理由は日程が別事業と重なったなど外的要因が多い。また、平成29年度では新規に参加する団体(5団体)もある状況であり、継続して連携・支援する。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

**【事業費の推移】**

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			669		675		675		675	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	669		675		675		675	
		一般財源	0		0		0		0	
	① 合計	669		675		675		675		
額	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	420	0	420	0	420	0	420	0
総事業費①+④			1,089		1,095		1,095		1,095	

**【評価指標】**

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①参加団体	目標値	団体	70	70	70	70
		実績値		47			
	②参加者数	目標値	人	4000	4000	4000	4000
		実績値		3000			
③	目標値						
	実績値						
④	目標値						
	実績値						
成果指標	①	目標値					
	【指標の定義(算式等)】	実績値					
	②	目標値					
【指標の定義(算式等)】	実績値						
③	目標値						
【指標の定義(算式等)】	実績値						

**【評価項目】**

チェック項目	評点	コメント
<b>妥当性</b> ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市民団体が日常活動の成果発表や成果を活かした取り組みなどを通し、生涯学習活動に対する理解や関心を深めるとともに、新たな学びとの出会いの場として貢献度は大きい。
<b>達成度</b> ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	参加する市民団体に構成された実行委員会で事業を行うことにより、市民に定着した事業となっていることから、事業運営の手段としては有効であるが、参加率の向上が課題である。
<b>成果向上</b> ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	事業の在り方を検討し、より効果的な事業展開を図る必要がある。
<b>経済性</b> ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	必要最小限度の経費により運営されていることから、コスト削減は困難である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--

## 付 表

## 補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

計画事業番号 259

&lt;継続用&gt;

## 【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	元気フェスティバル連携事業交付金		
交付先の名称 及び代表者名	元気フェスティバル実行委員会 実行委員長 古賀 智津子	設立年	平成16年
構成員(団体)数	47団体 (29年3月末現在)		
交付先団体等の 活動目的	主体的な学習活動で得た個人や団体の成果を多くの市民に還元し、生涯学習に関する意識を高め活動に結びつけていくことを目的とし実施する。		
交付先団体等の 活動内容	「元気フェスティバルinきたひろしま」を、市役所各部署、市民団体の協働での実行委員会により開催する。		
事務局の状況 (28年度)	<input type="checkbox"/> 補助団体にある <input checked="" type="checkbox"/> 市役所にある		
補助金等の充当 状況(28年度)	<input type="checkbox"/> 運営費のみに充当 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費のみに充当 <input type="checkbox"/> 運営費・事業費の双方に充当		

## 【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位：千円)

	区 分	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	備 考
収 入	本市補助・交付金の額(A)	672	669	675	
	国保医療課補助金	225	225	225	
	繰越金				
	収 入 合 計 (B)	897	894	900	
支 出	消耗品費	78	60	75	
	委託料	205	205	205	
	借上げ料	529	500	530	
	報償費	5	10	5	
	手数料	9	9	9	
	印刷製本費	49	48	50	
	通信費	22	24	26	
	保険料	0	38	0	
	支 出 合 計 (C)	897	894	900	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
全体支出に対する本市 補助・交付金の割合 (A)÷(C)		75 %	75 %	75 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		事業全体	事業全体	事業全体	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		900	900	900	
対象経費に対する補助 または 交付金の割合 (A)÷(D)		75 %	74 %	75 %	
補助・交付金の算出根拠		定額(国保医療課との協議により、社会教育課75%、国保医療課25%)			